2430

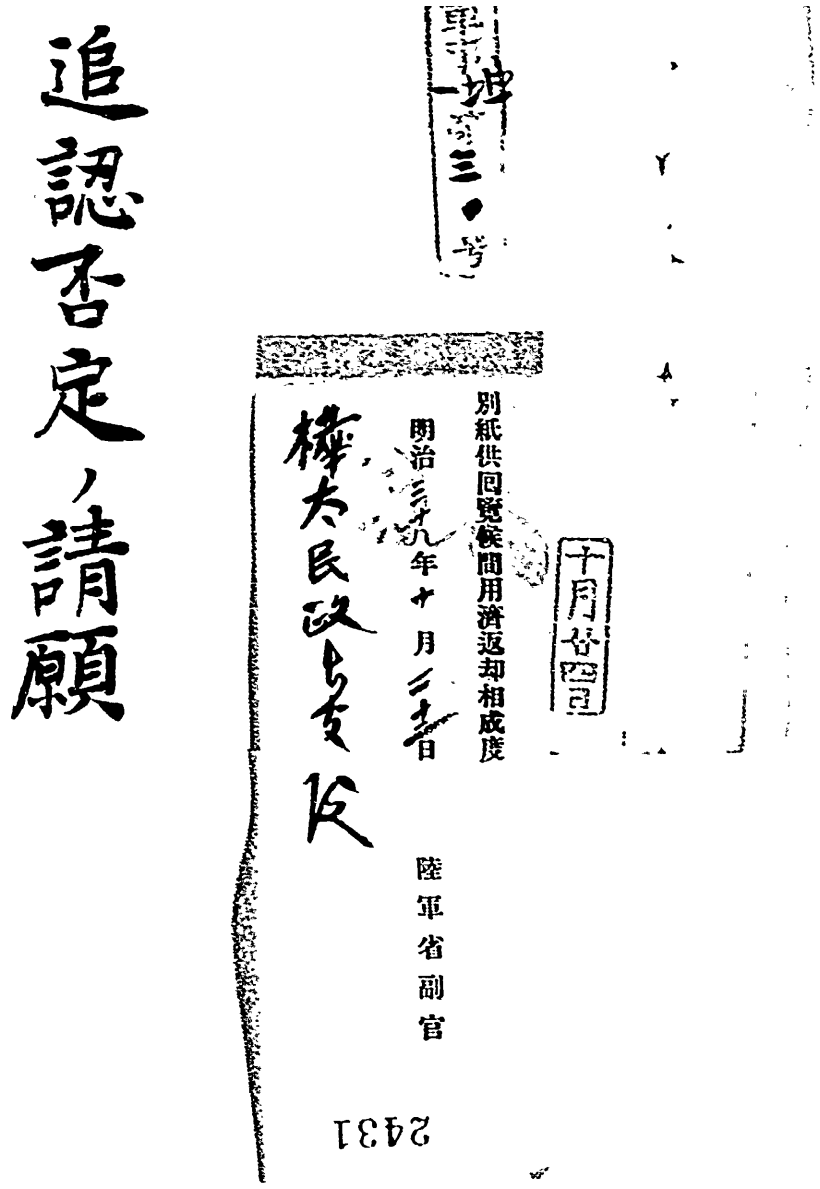
第三六四號

樺太露人長期漁業権追認否定ノ請願

別紙供回覧候間用済返却相成度
明治三十九年十月二十日
樺太民政支庁

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

追認否定ノ請願



アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

第三六四號

樺太露人長期漁業権追認否定ノ請願

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

樺太露人長期漁業權
追認否定ノ請願

側ニ聞ク所ニ依レハ露國人デンビー其他ノ者ハ樺太ニ於ケル長期漁業權ハ日露兩國講和全權委員ノ間ニ於テ特ニ確保ヲ約束セラレタルモノアリト唱ヘ我政府ニ對シ其漁業權ノ追認ヲ請求シ我政府亦將ニ彼レニ聽ク所ロアラントスト果シテ然ラハ是レ樺太ヲ事實的ニ再ヒ彼レニ讓ルモノニ

シテ某等漁業者ハ一ニハ自己ノ營業
ノ爲ノ他ニハ帝國ノ樽太經營ノ爲ノ
ニ其然ルヘカラサルコトラ開陳シ閣
下ニ訴ヘサルラ得サル次第ニ有之候
某等素ヨリ條約又ハ法律ノ解釋ラ得
意トスル者ニアラスト雖モ日露講和
條約ラ携ヘ之ラ斯道ノ學者ニ聽クニ
其說ニ曰ク帝國カ完全ナル主權ラ露
國ヨリ讓受ケ之ラ樽太ニ行フ以上ハ
領域主權國ノ臣民ニ專屬スルラ原則

トスル領海漁業ノ如キハ他ニ明約ナキ限リハ外國人ニ認ムヘキ義務アルコトナシ又露國漁業者ハ撫太ニ居住スル住民ト謂フヘカラス且ツ露國人ノ長期漁業特許ハ露國人ノミニ之ヲ許可シ日本人ノ使用ヲ制限シ日本人ノ監理者タルコトヲ禁止シ日本人ノ共同營業ヲ為スコトヲ禁止スル等行政政畧上ノ特權ニシテ私權ニアラスト某等モ深ク其說ノ正當ナルコトヲ

信スル者ニ候
夫レ樺太カ露國ノ爲メニ翻弄スル所
ロトナル一日ノ事ニアラス往年千島
樺太交換ノ事アリテ以來我漁業者ハ
怨ヲ含ミテ時機ノ至ルヲ待ツヽアリ
レカ日露交戰ノ結果我領域ニ歸スル
ヤ某等ハ樺太ノ經營ハ漁業ノ利ヲ收
ムルヨリ外之レナキヲ認メ之ヲ我手
ニ經營スルハ某等漁業者カ邦家ニ盡
スノ責任ナルコトヲ思ヒ奮然多額ノ

漁業料ヲ競ヒ漁業ノ特許ヲ受ケ日露
交戰中荒廢シタル漁場ニ整ヘ僅カニ
三十九年度ノ漁業ヲ了ヘタリ續テ本
年八月樺太民政署民政長官ハ更ニ明
治四十年度ノ漁業ヲ特許スルコトヲ
通知セラレタルニヨリ某等ハ直ニ漁
業料ヲ納付シ今ヤ其漁業ノ準備ニ着
手シタリ然ルニ若シ其漁場ヲ擧ケテ
再ヒ彼レ露國人ニ交付セラレム乎某
等特許ヲ受ケタル者中途ニシテ其事

業ヲ止ムルカ為メ少カラサル損害ヲ蒙ムルノミナラス一タヒ樺太ニ於ケル優勝ナル漁場ヲ彼ニ專占セシムルノ結果近キハ樺太ノ経営ニ亦多大ナル障害ヲ及ホシ遠キハ帝國ニ他日ノ累ヲ遺スモノナルコト明カニシテ永ク樺太ヲ事實的彼ニ譲ルノ結果ヲ生スルニ至ランコトヲ恐ル故ニ他ニ何等支情ノ存スルナキ限リハ條約ノ正文ニ依リ断乎トシテ彼等ノ請求ヲ排

除シ日露戰爭唯一ノ紀念トシテ我領
域ニ恢復シタル南樺太ヲ事實的ニモ
我領域トスルノ覺悟アランコト切望
スル次第ニ御座候
歲月迫マリ樺太ニ於ケル航海日々ニ
困難ナラントス明年度ニ於ケル漁業
準備ニ多事ナルノ際忽チ彼レ露國人
ノ請求ノコトヲ耳ニスル某々競々トシ
テ為ス所ヲ知ラス速カニ樺太ニ於ケ
ル露國人ノ漁業問題ヲ解決セラレ某

等ヲシテ安シテ其業ニ就クコトヲ得
セシメラレンコト切望ノ至リニ御座
候頓首再拜

明治三十九年九月廿五日

樺太島特許漁業者總代
北海道函館區會所町四拾七番地
山田竹次郎

仝渡島國上磯郡上磯村大字上磯
種田德之丞

仝函館區會所町四拾壱番地

アジア歴史資料センター
Japan Center for Asian Historical Records
http://www.jacar.go.jp/

陸軍大臣寺内正毅殿

米林伊三郎